

わかやま版「過疎集落支援総合対策」事業

決定!!

人と“ひと”が紡ぐ^{あ お}粟生活活性化プロジェクト

～粟生であおらよ～

本県が全国に先駆けて開始した「過疎集落支援総合対策」事業は、県が「ふるさと生活圏」に飛び込んで、地域の特性を活かし過疎対策を現場で住民とともに考えるものです。

この度、新たに有田川町粟生生活圏の計画が決定しましたので、お知らせいたします。

計画概要

有田川町粟生生活圏は、有田川町のほぼ中央に位置し、民家のほとんどが有田川の右岸を通る国道480号線沿いに存在する、148世帯の小さな集落です。

粟生と関わる交流人口を増やし地域の活力を向上させるために、旧粟生小学校を活用し、カフェの運営やサイクルステーションの開設など“おもてなし”を行います。

また、多くの人に移り住みたいと思うような魅力溢れる地域とするため、住民同士が将来にわたり仲良く協力し合う交流機会を創出します。



【位置図】

- 事業期間 2019年度～2021年度
- 事業主体 粟生いきいき寄合会
- 全体事業費：14,580千円(うち県:9,817千円)

【事業概要】

《旧粟生小学校を活用した“おもてなし”》

粟生を目的地とするため、また訪れた人たちの“おもてなし”のためにカフェの運営等、様々なことに取り組みます。

《山椒を活用した特産品開発》

粟生の特産品であるぶどう山椒を活用し、新たな特産品を作ります。

《住民間の交流機会を創出》

魅力溢れる地域とするため、住民間の交流機会を創出します。

《移住者の受入を推進》

移住者を受け入れるため、地域内の体制を整えます。

《地域の魅力を発信》

粟生の魅力を広く知ってもらうため、環境整備及び情報発信を行います。



【旧粟生小学校】



【薬師堂】

※ これまでの県内取組件数：国事業(16市町村22事業)、県事業(11市町18事業)【平成31年4月1日現在】

担当：企画部 移住定住推進課

定住推進班 鈴木・小川

TEL：073-441-2374 FAX：073-441-2939

現状

【平成27年国勢調査】

人口・世帯数：300人・148世帯
 高齢者人口：148人(49.3%)
 年少人口：14人(4.7%)

【歴史】

明治22年～岩倉村、昭和34年～清水町

【地域内産業】

第1次：第2次：第3次
 14.4%：30.5%：55.1%

【生活環境】

行政：清水行政局城山出張所粟生連絡所
 学校：粟生小学校（H27.3.31休校）
 ※鳥屋城小学校へ通学（大字金屋）
 交通：有田鉄道バス 藤並駅まで6往復/日
 買い物：日用品店1軒、移動販売(Aコープ)、行商
 金融：岩倉郵便局、JAありだATM
 医療：笠松医院、上西歯科医院粟生分院、
 粟生調剤薬局

【地域資源】

有田川（鮎釣り、川遊び）、吉祥寺、吉祥寺薬師堂、
 岩倉神社、粟生の巖、中組大師堂、妙顕神社、
 若宮神社

【宿泊施設】

民宿山荘アオ、民宿流木民

【伝統文化】

粟生のおも講と堂徒式、粟生の十夜念仏、
 岩倉神社秋祭り、もち花づくり

課題

- 人口減少及び高齢化の進行により地域の活力が低下
- 吉備～清水間の通過地点であるが食事処等立ち寄る場所が無い
- 地域の特産品・土産物が無い
- 日常的に住民が交流できる場所が無い
- 空き家が増加しているが活用できていない

対策

1. 旧粟生小学校を活用した“おもてなし”

①カフェの運営

- ・粟生の“美味しい水”を使用した飲食の提供
- ※「おいしい水の要件」に基づく成分分析
- ・珈琲、ハーブティー、山菜料理等
- ・目玉メニューの考案

②「積み木の部屋」の運営

- ・積み木やおもちゃを地域の木材で製造

③サイクルステーションの開設

④地元野菜の販売

⑤四季折々の写真をパネル展示、空撮動画の放映

⑥小学校や周辺に季節の花を植栽

2. 山椒を活用した特産品開発

- ・「山椒シフォンケーキ」、「山椒ちりめん」等の製造・販売



【旧粟生小学校】



【山椒シフォンケーキ(イメージ)】

3. 住民間の交流機会を創出

- ・食事会、おしゃべり会の開催
- ・高齢者向け配食サービスの実施
- ・クラフト等各種教室の開催、作品展示
- ・住民サロンの開催
 (囲碁・将棋、グラウンドゴルフ)
- ・盆踊り等地域行事の継承(大学生等の受入)

4. 移住者の受入を推進

- ・紹介できる空き家の掘り起し
- ・移住者の受入体制の整備

5. 地域の魅力を発信

- ・薬師堂(国指定重要文化財)の周辺環境整備
- ・粟生の巖の景観整備
- ・名所案内看板の設置、リーフレットの制作
- ・SNSを活用した情報発信



【もち花】



【薬師堂】

目指すべき姿

- ・粟生と関わる交流人口を増やし地域の活力を向上させる
- ・将来にわたり仲良く協力し合う魅力溢れる地域をつくる

【事業期間】2019年度～2021年度

【事業主体】粟生いきいき寄合会

全体事業費：	14,580千円
県：	9,817千円
町：	4,763千円